

単元名 書きぞめ

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 文字の大きさや組み立て方、配列に気を付けて、字形を整えて書くことができる。
(3) 自分のめあてを決めて、これまでの学習を生かして意欲的に書こうとする。

標準的な展開例

06020301_001

【教材名】選択課題 『理想』『伝統を守る』（毛筆）

(P. 43～P. 48)

【準備等】半紙、書き初め用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 組み立て方や筆使いに気を付けて、『理想』か『伝統を守る』のどちらかを書く。 ★組み立て方や筆使いに気を付けて書こう ○用具の置き方や姿勢を知る。</p> <p>○『理想』か『伝統を守る』のどちらかを選択し、試し書きをする。 ○試し書きと教科書の文字を比較し、自分のめあてを決める。</p> <p>○半紙や書き初め用紙を縦半分に折り、『理想』か『伝統を守る』のどちらかを練習する。</p> <p>○自己評価・相互評価をする。</p> <p>○学年、名前の練習をする。</p> <p>2～3 文字の大きさや組み立て方、配列に気を付けて『理想』か『伝統を守る』のどちらかを書く。 ★紙面に対する文字の大きさや配列などに気を付けて、字形を整えて書こう ○文字の大きさや組み立て方、配列に気を付け、毛筆で『理想』か『伝統を守る』のどちらかを試し書きする。 ○試し書きと教科書の文字を比較し、基準を確認する。</p> <p>○半紙や書き初め用紙を折らずに練習する。</p> <p>○『理想』か『伝統を守る』のどちらかをまとめ書きし、自己評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P. 45～P. 48を見ながら、姿勢には「床の上で書く姿勢」と「立って書く姿勢」があることを理解させ、本時は立って書くことを伝える。 机を縦に置き換え、書く準備をさせる。 教科書の手本を見ながら書かせる。 教科書P. 45～P. 48の上下にある点を線で結ばせ、行の中心を確かめさせる。 特に注意したい点をめあてとして設定するよう助言する。 字形を整えて書くには、筆圧に注意すると共に、強弱のあるリズムカルな運筆で1文字を書き上げることが大切であることを知らせる。 中心線を意識して練習させ、行の中心が取れるようになったら、折らずに書かせる。 四つの文字の大きさの割り振りがうまくいかない場合は、書き初め用紙を四つに折らせて感覚をつかませる。 画数の多い字と少ない字が混ざっているときは、画数の少ない字を少し太めに書くことで全体のつり合いがとれることを伝える。 文字の大きさや筆使いに注意して書くことができたか自己評価・相互評価をさせる。 【評】練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 位置や大きさに気を付けさせる。 前時の学習を想起し、自分のめあてを確認させる。 文字の組み立て方や行の中心に注意して書けたか、文字の間がほぼ等間隔で空いているかを確かめさせる。 点画を作る筆の動きや筆圧のかけ方、書く速さを考えながら書けたかを確認させる。 用紙と文字のつり合いを考えながら書くようにさせる。 学年や名前も、行の中心、文字と文字との間隔に注意して書くことを伝える。 練習の成果を認め、達成感をもたせる。 【評】作品を通して、文字の大きさや組み立て方、配列に対する「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】